



運動会演技メリーゴーランド



山村留学紹介 道谷小学校

宍粟市最北、日本海との分水嶺が見える道谷小学校は、県内唯一の3級へき地指定校であり、但馬地域や家島町そして淡路の沼島よりもへき地度の高い学校であります。近畿地域でも滋賀県北部に1校あるだけの最高級のへき地校なのです。

道谷小学校区(波賀町戸倉・道谷)では、地域の活性化と児童の健全な育成を目指して、山村留学生の受け入れを昭和58年度からスタートして、今年で27年目を迎えております。これまで延べ185名の留學生を受け入れており、全国でも長野県の小学校に次いで2番目に長い歴史を誇っています。

現在、地元の児童10名と神戸や大阪からの留學生5名で、全校15名という関西でも稀な小規模校であり、校区挙げての地域活動が各方面から注目されています。

この9月20日の運動会も校区の老若男女そして留學生の家族も参加し、いい汗を流しました。

留學生は、人情が厚く心温かい道谷校区の家庭で、家族の一員として生活し、地域の自然、文化と触れ合う中で、感性を育み、人間としての生き方や在り方をのびのびと学んでいます。

学校のホームページを見ると笑顔いっぱい、元気いっぱいの子どもたちの写真や保護者からのメッセージなどが掲載されており、子どもたちが豊かな自然と地域の人たちによって、様々な驚きや発見そして出会いの中で大きく成長していく様子がうかがえます。

11月2日(月)から6日(金)までの5日間、夕方7時前の番組でテレビ(朝日)放送されます。番組名は「元気キッズ」



〜ありがとう 高校生ボランティア〜

被災直後の8月13日から伊和高校の生徒会や部活動の生徒たちが中心となり、額の汗をぬぐいながら、泥にまみれるのもいとわず、被災家屋から汚泥の撤去や家財道具の搬出を行いました。21日まで9日間で延べ122名の生徒と先生が被災地の復興支援に携わりました。

